

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福岡市総合体育館	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市東区香椎照葉6丁目2	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,550 時間/年
建物用途	物販店,集会所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2016年12月12日
敷地面積	40,268 m ²	作成者	照業アリーナ(株)
建築面積	16,317 m ²	確認日	
延床面積	25,526 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.5 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 4.2</p>	<p>Q2のスコア = 3.8</p>	<p>Q3のスコア = 3.8</p>

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 4.8</p>	<p>LR2のスコア = 3.9</p>	<p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>本施設は福岡市の総合体育館です。アリーナとしての高揚感や市民を迎え入れる顔づくりに配慮したデザイン、利用しやすさと管理しやすさを追求した機能的なゾーニング、アイランドシティの豊かな自然と一体となった外構計画、塩害や風害等に配慮した構造・設備計画など、様々な工夫により、建物内外に豊かな環境を創出し、市民の多様なスポーツ活動を支え、まちと人をいきいきと元気にする総合体育館を実現します。</p>	<p>その他</p> <p>アイランドシティの中央を走るグリーンベルトの計画を重視し、その流れを豊かに敷地に取り込み、西側道路のまちかど広場へと伸ばす計画である。その周囲には地域のアメニティを向上する休息スペース等を整備し、ト</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイサイドライトなどにより、競技に影響を及ぼさないように外光を取り入れ、大会時には遮光装置により光をシャットアウト。 ・アリーナからの外部への音漏れに配慮した遮音性の高 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営業者・管理業者が設計段階から計画に携わり、利用者へのサービスや維持管理性能の向上を図る。 ・パース等を使用し、効果的なデザインについてビジュアルに検討する。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビルの消費エネルギー等を把握し、定期的な設備性能検証を行い管理方針を見直すなど、運用管理体制の充実を図る。 ・太陽光発電や、ハイブリット該当などエネルギーの間接利用を図る。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・躯体材料や内装仕上げ材等にリサイクル材を使用する。 ・鋼製2重床やOAフロアなど、躯体と仕上がりが分別可能な材料や、再利用可能な材料を使用する。 ・ODPの低い発泡剤を採用している。
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンベルトと一体となった豊かな緑地を整備する。屋上緑化した有機的なデッキで、街並みと調和する良好な景観形成を図る。 ・親水空間や、デッキ下のテラス、遊具等を整備し、地 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの発生量を把握し、分別回収を行うなど、計画的なごみの搬出を行う。 ・イベント対応のため、大きな堆積スペースを確保し、ごみ等を一時保管する。 ・敷地中央に建物をコンパクトに計画し、周囲への日影

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される